

## みんなで地域づくり事業企画書

団体名	四街道・科学未来からくり倶楽部	
事業名	科学実験・工作教室支援事業	
目的・必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームやインターネット等の影響でバーチャルな世界に没頭する余り、現実意識が減少傾向にある子供たちに、実生活での問題の解決能力、生活習慣を育成する。</li> <li>・子供たちに、科学の面白さを知ってもらうために驚きや発見を体験し、好奇心旺盛で創造性豊かな感性、自由な発想意欲を育てる環境を提供する活動を行う。</li> <li>・小学校を核として、周辺地域の連携と世代間の交流の場を提供する。</li> </ul>	
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 小学校を中心にして、「科学実験・工作教室」を主力事業として位置づけ、学校と地域のコミュニケーションの機会を築くことをめざした活動を継続的に実施する。</li> <li>② 市内の児童・生徒による未来の科学や世界の夢を描いた絵画を募集し、優秀作品を(公社)発明協会が主催する「未来の科学の夢」絵画展全国大会へ推薦する。</li> <li>③ 地域に伝わる遊び、ものづくりの伝承と、世代を超えたコミュニティの場を作る。</li> </ol>	
スケジュール	時期	具体的な取組
	平成28年4月	事業の具体的な実行を開始、会員募集、学校等、関係機関との調整 「科学・工作クラブ」等の活動を計画、PR。
	5月	科学実験・工作进行を指導できる地域の指導員の募集 市内各校、関連団体へ活動を紹介、内容の充実、地域の拡大を図る
	6～9月	「未来の科学の夢」絵画展PRおよび作品募集 夏休みのイベント、施設見学会の実施
	10～11月	絵画展の審査会、展示会を実施し、優秀作品を全国大会へ推薦する 科学実験、工作に活用する教材、実験機器を開発、製作
	12月	次年度に向けた実行計画、各学校とのスケジュール調整 具体的な支援方法、内容の検討、マニュアル作成等
	平成29年3月	活動の完了、事業完了報告まとめ 将来の活動に備えたプログラムを決定
役割分担の想定	(団体の役割) 事業・活動内容の企画、実行計画策定、実施運営、収支予算管理、実施報告 理科実験教室を支援できる人材の確保、養成 実験教材、機器の開発、調達、並びに実験、実験機器取扱いにおける安全対策徹底 民間企業、関係機関への支援、協力働きかけ	
	(市の役割) 公民館等活動の拠点の確保、広報掲載等PR活動への援助 教材、実験機器調達費用の補助	
他団体との連携	各公民館および市内各小学校、近隣教育機関(中、高、大学等) 地元自治会、商工会、民間企業等	
期待される成果	『コラボ四街道採択事業』3年目として <ul style="list-style-type: none"> <li>・初年度は、事業採択を受け旭小学校の活動を軸に事業の基礎を築き、次年度はその活動を数校へ展開し、「未来の科学の夢」絵画展を加えて事業拡大を実現した。</li> <li>・最終年度にあたり、過去2年間の実績と補助金による成果を生かして、将来に向けて事業を継続するための施策に注力する。(民間企業の支援を期待)</li> </ul> 『将来』は、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国規模の創意工夫コンテスト等で競うことのできるレベルの活動を目指す。</li> <li>・市内全域に展開できる規模拡大を目標とし、科学を通じて幅の広いコミュニティを築き、市内の小学生児童の多くが参画できる活動とする。</li> <li>・理科教育の支援をできる事業を目指し、資源・人材確保について調査活動を継続し実現に向けた基礎を築く。</li> </ul>	